



## 2018年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年8月4日  
東

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356  
 四半期報告書提出予定日 2017年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2018年3月期第1四半期の連結業績 (2017年4月1日～2017年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	47,420	5.2	10,040	5.6	10,851	16.0	7,887	15.5
2017年3月期第1四半期	45,085	△0.2	9,508	0.9	9,357	△8.6	6,826	△5.3

(注) 包括利益 2018年3月期第1四半期 9,521百万円(94.7%) 2017年3月期第1四半期 4,889百万円(△39.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2018年3月期第1四半期	52.22		—	
2017年3月期第1四半期	44.31		—	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	218,874		163,941		74.1	
2017年3月期	231,748		163,707		69.9	

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 162,265百万円 2017年3月期 162,041百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2017年3月期	—		24.00		28.00	52.00
2018年3月期	—		—		—	—
2018年3月期(予想)	—		28.00		32.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2018年3月期の連結業績予想 (2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	87,700	3.8	15,000	1.8	15,100	6.2	11,500	8.5	76.29	
通期	189,000	4.8	32,500	3.4	33,300	5.0	25,200	4.9	167.33	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2018年3月期1Q	152,000,000株	2017年3月期	154,000,000株
② 期末自己株式数	2018年3月期1Q	1,545,834株	2017年3月期	2,242,017株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2018年3月期1Q	151,042,450株	2017年3月期1Q	154,049,621株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2017年8月4日(金)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2017年4月1日～2017年6月30日）の国内景気は、企業の好業績、株価上昇などを受けて消費マインドが改善し、人手不足を背景に雇用環境も引き続き良好なことから、緩やかな回復基調が続きました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品部門は、基礎化学品が増収となりました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料、半導体材料、無機コロイド全て順調でした。農業化学品部門は、一般家庭向け除草剤の「ラウンドアップマックスロードAL」剤を中心に堅調に推移しました。医薬品部門は、「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬の国内販売が後発品の増勢により減少しました。

この結果、当期間における業績は、売上高474億20百万円（前年同期比23億35百万円増）、営業利益100億40百万円（同5億32百万円増）、経常利益108億51百万円（同14億93百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益78億87百万円（同10億60百万円増）となりました。計画比では、売上高は22億円上ぶれ、営業利益は19億円上ぶれ、経常利益は23億円上ぶれ、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億円上ぶれとなりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

#### 化学品部門

基礎化学品では、高純度硫酸の販売が増加しました。ファインケミカルでは、「テピック」（封止材用等特殊エポキシ）の販売は増加しましたが、「ハイライト」（殺菌消毒剤）は減少しました。

この結果、当部門の売上高は88億36百万円（前年同期比3億12百万円増）、営業利益は15億18百万円（同26百万円増）となりました。計画比につきましては、売上高は4億円の上ぶれ、営業利益は1億円の上ぶれとなりました。

#### 機能性材料部門

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）のスマートフォンなど中小型向けが好調でした。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC\*\*）および多層材料（OptiStack\*\*）が一部顧客の稼働率回復により増収となりました。無機コロイド材料は、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）の研磨用途向け販売が増加しました。

この結果、当部門の売上高は140億99百万円（前年同期比14億50百万円増）、営業利益は36億6百万円（同6億25百万円増）となりました。計画比につきましては、売上高は3億円の上ぶれ、営業利益は4億円の上ぶれとなりました。

\* ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

#### 農業化学品部門

国内の「アルテア」（水稻用除草剤）の販売は好調でした。「ラウンドアップ」（非選択性茎葉処理除草剤）は出荷が計画比前倒しとなりました。「タルガ」（畑作用除草剤）は欧州で増加しました。また、フルララネル（動物用医薬品原薬）は出荷時期のずれにより減収となりました。

この結果、当部門の売上高は146億1百万円（前年同期比1億37百万円増）、営業利益は45億43百万円（同55百万円増）となりました。計画比につきましては、売上高は11億円の上ぶれ、営業利益は7億円の上ぶれとなりました。

#### 医薬品部門

「リバロ」原薬は、海外向けは伸長しましたが、国内向けは後発品の増勢により減少しました。「ファインテック」（医薬品研究開発参加型事業）は好調な売上となりました。

この結果、当部門の売上高は21億48百万円（前年同期比69百万円減）、営業利益は5億45百万円（同1億1百万円減）となりました。計画比につきましては、売上高は6億円の上ぶれ、営業利益は4億円の上ぶれとなりました。

#### 卸売部門

当部門の売上高は145億52百万円（前年同期比1億96百万円増）、営業利益は4億22百万円（同12百万円減）となりました。計画比につきましては、売上高は6億円の下ぶれ、営業利益は計画通りとなりました。

#### その他の部門

当部門の売上高は53億81百万円（前年同期比14億8百万円増）、営業利益は1億28百万円（同1億52百万円増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

##### （資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比128億74百万円減の2,188億74百万円となりました。

負債も短期借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比131億8百万円減の549億33百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比2億34百万円増の1,639億41百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比4.2ポイント増加し、74.1%となりました。

##### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、112億83百万円の収入（前年同期は98億79百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、43億53百万円の支出（前年同期は3億69百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払などにより、183億47百万円の支出（前年同期は210億81百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額21百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して114億38百万円減少し、242億63百万円（前年同期は233億86百万円）となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表(2017年5月12日)の業績予想から変更はありません。

#### (4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。なお、株主還元につきましては、2016年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」において、配当性向を2019年3月期に向けて40%まで段階的に引き上げることに加え、総還元性向70%の維持を目標としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,701	24,263
受取手形及び売掛金	60,075	56,782
商品及び製品	28,602	29,356
仕掛品	64	328
原材料及び貯蔵品	7,778	7,875
その他	8,375	6,571
貸倒引当金	△33	△34
流動資産合計	140,564	125,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,824	23,490
その他（純額）	28,145	28,329
有形固定資産合計	51,969	51,820
無形固定資産		
のれん	0	7
その他	1,576	1,607
無形固定資産合計	1,577	1,615
投資その他の資産		
投資有価証券	32,465	35,221
その他	5,269	5,169
貸倒引当金	△98	△95
投資その他の資産合計	37,636	40,295
固定資産合計	91,183	93,731
資産合計	231,748	218,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,943	14,142
短期借入金	26,225	17,168
未払法人税等	3,288	2,032
賞与引当金	1,920	604
役員賞与引当金	28	7
その他	11,259	9,752
流動負債合計	57,665	43,706
固定負債		
長期借入金	4,580	4,580
事業構造改善引当金	594	590
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	101	103
その他	4,791	5,643
固定負債合計	10,376	11,226
負債合計	68,041	54,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	126,370	122,973
自己株式	△7,587	△5,551
株主資本合計	151,337	149,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,079	11,894
為替換算調整勘定	243	27
退職給付に係る調整累計額	380	367
その他の包括利益累計額合計	10,703	12,289
非支配株主持分	1,666	1,676
純資産合計	163,707	163,941
負債純資産合計	231,748	218,874

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	45,085	47,420
売上原価	24,843	26,333
売上総利益	20,241	21,087
販売費及び一般管理費	10,733	11,047
営業利益	9,508	10,040
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	277	294
持分法による投資利益	143	288
その他	151	335
営業外収益合計	576	922
営業外費用		
支払利息	50	40
固定資産処分損	56	50
有価証券評価損	172	-
為替差損	425	-
その他	21	21
営業外費用合計	727	112
経常利益	9,357	10,851
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	9,357	10,851
法人税、住民税及び事業税	1,711	2,244
法人税等調整額	768	643
法人税等合計	2,480	2,888
四半期純利益	6,877	7,962
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,826	7,887

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	6,877	7,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△970	1,815
為替換算調整勘定	△998	△242
退職給付に係る調整額	△18	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△1,987	1,559
四半期包括利益	4,889	9,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,918	9,473
非支配株主に係る四半期包括利益	△28	47

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,357	10,851
減価償却費	1,948	2,203
受取利息及び受取配当金	△281	△299
支払利息	50	40
固定資産処分損益 (△は益)	56	50
売上債権の増減額 (△は増加)	2,779	3,280
たな卸資産の増減額 (△は増加)	912	△1,118
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,633	△913
その他	745	84
小計	13,935	14,179
利息及び配当金の受取額	341	359
利息の支払額	△27	△23
法人税等の支払額	△4,369	△3,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,879	11,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	2,638	1
有形固定資産の取得による支出	△2,839	△4,268
有形固定資産の除却による支出	△54	△48
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△63	65
その他	△46	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△369	△4,353
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△12,009	△9,054
配当金の支払額	△4,013	△4,249
非支配株主への配当金の支払額	△52	△39
自己株式の取得による支出	△2,895	△5,000
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△2,104	-
その他	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,081	△18,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△353	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,923	△11,438
現金及び現金同等物の期首残高	35,335	35,701
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△25	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,386	24,263

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2017年4月25日の取締役会決議に基づき、2017年5月9日付で2,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が7,036百万円、自己株式が7,036百万円減少しております。

また、2017年5月12日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が4,999百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

## 1) 前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,261	11,096	12,975	2,217	10,915	1,617	45,085	—	45,085
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,262	1,552	1,488	—	3,440	2,356	11,098	△11,098	—
計	8,523	12,648	14,464	2,217	14,356	3,973	56,183	△11,098	45,085
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,492	2,981	4,488	647	434	△24	10,021	△513	9,508

(注) 1. セグメント利益の調整額△513百万円には、セグメント間取引消去42百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2) 当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,432	12,509	13,354	2,121	11,134	1,866	47,420	—	47,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,404	1,589	1,246	26	3,417	3,514	12,199	△12,199	—
計	8,836	14,099	14,601	2,148	14,552	5,381	59,619	△12,199	47,420
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,518	3,606	4,543	545	422	128	10,765	△725	10,040

(注) 1. セグメント利益の調整額△725百万円には、セグメント間取引消去△95百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。